



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 アドバネクス

コード番号 5998 URL <http://www.advanex.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 柴野 恒雄

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役最高財務責任者

(氏名) 大野 俊也

TEL 03-3822-5865

四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	8,772	△11.6	84	△76.9	74	△78.8	△4	—
28年3月期第2四半期	9,924	△30.4	366	△27.0	353	△18.6	237	△25.5

(注)包括利益 29年3月期第2四半期 △943百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 84百万円 (△92.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	△1.05	—
28年3月期第2四半期	57.88	57.49

(注)当社は平成27年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しました。当該株式併合を前連結会計年度の期首に実施したと仮定し、1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	16,285	5,494	33.4	1,334.34
28年3月期	17,024	6,578	38.4	1,600.38

(参考)自己資本 29年3月期第2四半期 5,447百万円 28年3月期 6,536百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	—	—	35.00	35.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	17,700	△7.2	450	△32.7	400	△40.5	220	△62.5
								53.88

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期2Q	4,153,370 株	28年3月期	4,153,370 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

29年3月期2Q	70,874 株	28年3月期	69,313 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	4,083,382 株	28年3月期2Q	4,102,164 株
----------	-------------	----------	-------------

(注) 当社は平成27年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しました。当該株式併合を前連結会計年度の期首に実施したと仮定し、期中平均株式数(四半期累計)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における経済環境は、米国では雇用環境の改善や堅調な個人消費により緩やかな景気拡大が続いておりますが、欧州では足元が堅調な一方で英国のEU離脱の影響から先行き不透明感が強まっております。また、中国では過剰投資などにより経済が減速しておりますが、東南アジアでは一部中国経済の影響を受けたものの底堅く推移しました。日本では、円高傾向で輸出が横ばいとなるなど足踏みの状況となりました。当社が関連する分野では、自動車市場は、欧州をはじめ全体的には堅調に推移しました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期比11.6%減の87億72百万円となり、営業利益は前年同四半期比76.9%減の84百万円となりました。経常利益は前年同四半期比78.8%減の74百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純損失は4百万円となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

〔日本〕

自動車向けは好調に推移しましたが、OA機器向けが減少したほか、埼玉工場の立上げによる固定費の増加などにより、売上高は前年同四半期比4.8%減の37億47百万円、セグメント損失は2億96百万円となりました。

〔米州〕

円高の影響や自動車・住設向けが減少したほか、メキシコ第二工場の立上げによる固定費の増加などにより、売上高は前年同四半期比15.6%減の9億25百万円、セグメント損失は53百万円となりました。

〔欧州〕

航空機向けは好調に推移しましたが、円高の影響のほか、医療向けが減少したことなどにより、売上高は前年同四半期比29.9%減の8億75百万円、セグメント利益は同52.6%減の70百万円となりました。

〔アジア〕

円高の影響により、売上高は前年同四半期比11.5%減の32億23百万円となった一方、タイの収益が大幅に拡大したほか、中国の収益性改善の取組みが奏功したことなどにより、セグメント利益は同10.4%増の3億56百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ7億38百万円減少し、162億85百万円となりました。

資産の部においては、流動資産合計額が3億78百万円減少し95億79百万円となりました。主な理由は、現金及び預金が2億19百万円、たな卸資産が69百万円及びその他の流動資産が93百万円減少したことによるものであります。また、固定資産合計額は3億60百万円減少し67億5百万円となりました。有形固定資産が2億96百万円、無形固定資産が25百万円及び投資その他の資産が38百万円それぞれ減少したことによるものであります。

負債の部においては、負債合計額は107億91百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億45百万円増加しました。主な理由は、借入金が5億91百万円増加したことによるものであります。

純資産の部においては、純資産合計額が54億94百万円となり、前連結会計年度末に比べて10億83百万円減少しました。主な理由は、親会社株主に帰属する四半期純損失4百万円の発生や配当金の支払い1億41百万円により、利益剰余金が1億47百万円減少し、円高により為替換算調整勘定が9億54百万円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ3億8百万円減少し、23億61百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により資金が2億25百万円増加(前年同四半期は7億61百万円の資金増加)しました。

主な収入要因は、税金等調整前四半期純利益76百万円、減価償却費による資金留保3億78百万円によるものです。主な支出要因は、売上債権の増加2億50百万円やたな卸資産の増加1億13百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により資金が7億3百万円減少(前年同四半期は9億31百万円の資金減少)しました。

主な支出要因は、当社及びグループ会社における設備投資5億49百万円及び定期預金の預入1億74百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により資金が4億98百万円増加(前年同四半期は27百万円の資金増加)しました。

主な収入要因は、借入金による収支6億44百万円であり、支出要因は、配当金の支払額1億41百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績予想につきましては、平成28年8月12日に公表しました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,465,434	3,245,842
受取手形及び売掛金	4,096,757	4,098,336
商品及び製品	1,045,537	928,324
仕掛品	443,607	509,452
原材料及び貯蔵品	540,485	522,100
繰延税金資産	1,585	1,466
その他	383,912	290,289
貸倒引当金	△19,577	△16,127
流動資産合計	9,957,742	9,579,683
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,085,755	1,937,613
機械装置及び運搬具(純額)	2,218,894	2,144,496
土地	982,722	940,158
その他(純額)	518,968	487,473
有形固定資産合計	5,806,340	5,509,742
無形固定資産	265,587	240,190
投資その他の資産	994,598	956,058
固定資産合計	7,066,526	6,705,990
資産合計	17,024,268	16,285,674
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,421,123	2,306,649
短期借入金	702,817	856,301
1年内返済予定の長期借入金	1,477,247	1,691,815
未払法人税等	78,892	108,880
賞与引当金	127,836	153,441
災害損失引当金	2,000	—
その他	1,042,680	886,937
流動負債合計	5,852,597	6,004,026
固定負債		
長期借入金	2,910,258	3,133,700
繰延税金負債	190,416	158,969
環境対策引当金	3,000	3,000
退職給付に係る負債	1,325,440	1,329,060
資産除去債務	39,138	39,023
その他	125,232	123,637
固定負債合計	4,593,485	4,787,392
負債合計	10,446,083	10,791,418

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	256,717	256,717
利益剰余金	5,702,235	5,555,010
自己株式	△119,180	△121,009
株主資本合計	6,839,772	6,690,718
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	105,407	69,393
為替換算調整勘定	△144,195	△1,098,223
退職給付に係る調整累計額	△264,953	△214,464
その他の包括利益累計額合計	△303,741	△1,243,294
新株予約権	42,154	46,832
純資産合計	6,578,185	5,494,255
負債純資産合計	17,024,268	16,285,674

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	9,924,554	8,772,448
売上原価	7,269,986	6,585,007
売上総利益	2,654,568	2,187,441
販売費及び一般管理費	2,287,714	2,102,777
営業利益	366,854	84,663
営業外収益		
受取利息	8,053	10,558
受取配当金	2,859	4,095
受取賃貸料	42,639	37,752
その他	13,170	14,865
営業外収益合計	66,722	67,271
営業外費用		
支払利息	27,274	23,800
為替差損	31,779	39,073
その他	21,194	14,153
営業外費用合計	80,248	77,027
経常利益	353,327	74,907
特別利益		
固定資産売却益	216	1,854
特別利益合計	216	1,854
特別損失		
固定資産売却損	372	371
固定資産処分損	218	381
投資有価証券売却損	8	—
関係会社整理損失引当金繰入額	7,464	—
特別損失合計	8,063	752
税金等調整前四半期純利益	345,479	76,009
法人税、住民税及び事業税	100,611	85,336
法人税等調整額	7,425	△5,045
法人税等合計	108,036	80,291
四半期純利益又は四半期純損失(△)	237,442	△4,282
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	237,442	△4,282

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	237,442	△4,282
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△21,653	△36,014
為替換算調整勘定	△149,275	△954,027
退職給付に係る調整額	18,230	50,488
その他の包括利益合計	△152,698	△939,552
四半期包括利益	84,744	△943,835
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	84,744	△943,835

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	345,479	76,009
減価償却費	419,075	378,529
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△968	△86
賞与引当金の増減額(△は減少)	95,094	32,901
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△36,652	57,959
受取利息及び受取配当金	△10,912	△14,653
支払利息	27,274	23,800
為替差損益(△は益)	311	17,251
固定資産売却損益(△は益)	156	△1,483
固定資産処分損益(△は益)	218	381
投資有価証券売却損益(△は益)	8	—
売上債権の増減額(△は増加)	18,536	△250,145
たな卸資産の増減額(△は増加)	43,704	△113,337
仕入債務の増減額(△は減少)	123,595	△1,539
その他	△211,652	47,737
小計	813,269	253,324
利息及び配当金の受取額	11,056	15,206
利息の支払額	△28,195	△26,035
法人税等の支払額	△77,784	△57,826
その他	43,581	40,431
営業活動によるキャッシュ・フロー	761,926	225,099
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△797,724	△543,487
有形固定資産の売却による収入	1,517	28,747
無形固定資産の取得による支出	△74,288	△6,034
無形固定資産の売却による収入	267	2,413
投資有価証券の取得による支出	△48,207	△10,127
定期預金の預入による支出	△119,620	△174,880
定期預金の払戻による収入	128,034	—
その他	△21,497	△558
投資活動によるキャッシュ・フロー	△931,518	△703,927
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△23,435	189,646
長期借入れによる収入	800,000	1,250,000
長期借入金の返済による支出	△503,802	△795,351
自己株式の増減額(△は増加)	△99,955	△1,829
配当金の支払額	△122,390	△141,923
その他	△22,463	△2,122
財務活動によるキャッシュ・フロー	27,952	498,420
現金及び現金同等物に係る換算差額	△55,481	△328,212
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△197,121	△308,619
現金及び現金同等物の期首残高	3,407,654	2,669,998
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,210,533	2,361,378

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	日本	米州	欧州	アジア	合計
売上高					
外部顧客への売上高	3,936,198	1,097,030	1,249,441	3,641,884	9,924,554
セグメント間の内部売上高 又は振替高	243,322	—	22,019	90,700	356,041
計	4,179,521	1,097,030	1,271,460	3,732,584	10,280,596
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	△145,545	52,048	147,852	322,785	377,141

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	377,141
セグメント間取引消去	△10,287
四半期連結損益計算書の営業利益	366,854

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	米州	欧州	アジア	合計
売上高					
外部顧客への売上高	3,747,208	925,478	875,967	3,223,793	8,772,448
セグメント間の内部売上高 又は振替高	187,779	79	28,838	90,907	307,605
計	3,934,988	925,558	904,806	3,314,701	9,080,053
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	△296,532	△53,904	70,154	356,513	76,231

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	76,231
セグメント間取引消去	8,432
四半期連結損益計算書の営業利益	84,663

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。